



東広会ニュース

9月号

2016年(平成28年)

Vol.147

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

デジタルサイネージの取り組み

J企では2016年度も積極的にデジタルサイネージに取り組み、「トレインチャンネル」で南武線、常磐線各駅停車への導入が完了し、山手線ではE235系新型車両の導入が開始された。「J・ADビジョン」「J・SPOTビジョン」は、支店エリアの仙台駅、盛岡駅で新設された。

「トレインチャンネル」は山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、N'EX、京葉線、埼京線・川越線・横浜線、南武線、常磐線各駅停車で導入が完了し「トレインチャンネル」は約26,800面規模の大型ネットワークメディアとなった。

山手線では新たな車内サイネージ「まど上チャンネル」「サイドチャンネル」が搭載されたE235系新型車両の導入が開始され、5月よりADトレインとして広告展開が行われている。

「J・ADビジョン」「J・SPOTビジョン」は更なるネットワークの拡大が行われ、4月に仙台駅で8面、7月に盛岡駅で4面新たに設置され、2016年9月現在で57駅462面となった。

4月より新宿駅甲州街道改札脇で60インチの液晶ディスプレイ9面を組み合わせた180インチのマルチデジタルサイネージ「SHINJYUKU



山手線新型車両E235系車内広告

M・VISION」の放映が開始された。また、(株)ジェイアール東日本企画、(株)ジェイアール東海エージェンシー、(株)JR西日本コミュニケーションズ、(株)ジェイアール四国企画、JR九州エージェンシー(株)、(株)北海道ジェイ



新宿駅 SHINJYUKU M - VISION

アール・エージェンシーの6社のデジタルサイネージを連携した商品『駅エリアデジタルサイネージJR6社ネットワークセット』の販売も昨年に引き続き行われた。

2016年度上期の「トレインチャンネル」においては、7月には「高校野球東西東京大会・埼玉大会・神奈川大会」のダイジェスト速報の配信・放映が実施された。

2016年度下期もOOHメディアにおけるデジタルサイネージメディアの確立を目指す取り組みが予定されている。

渋谷駅で「スーパーラッピング」の展開を実施

渋谷駅において階段壁面や床面、天井をジャックした「スーパーラッピング」の広告展開が実施された。広告主は株式会社Cygamesの、ソーシャルゲーム「グランブルーファンタジー」のPRが行われた。

渋谷駅「スーパーラッピング」は、渋谷駅ハチ公口改札付近の床面・天井・壁面や渋谷駅改札外北通路の壁面のほか、渋谷駅中央改札から山手線ホームにつながる2箇所の階段壁

面を1クライアントの広告でオールラッピングできるインパクトのあるメディアであり、渋谷駅の改札や通路・階段等、様々なシーンで渋谷駅利用者の動線に沿った連続的な広告訴求が行われた。

渋谷駅の空間をジャックした今回の広告展開は、渋谷駅利用者の関心を集めた。展開期間は8月1日(月)から8月14日(日)まで。



渋谷駅スーパーラッピング

東京駅で駅ポスターセットと集中貼りの集中展開を実施

東京駅において駅ポスターセット「東京ブライトピラー」とSP媒体「集中貼り」を活用した集中展開が実施された。

広告主は日本航空で、「プレミアムエコノミークラス・JAL国際線」のPRが行われた。

東京駅八重洲中央改札から中央通路へつながる駅構内通路の柱にB0サイズで38面のジャック展開が可能な「東京ブライトピラー」と東京駅の中央通路や北通路から各路線のホームにつながる大半の階段側面部

に集中的に広告展開できる東京駅「集中貼り」において、同一クライアントによる集中展開が同時期に行われた。

東京駅のメインストリートである中央通路や北通路から各路線ホーム上につながる階段側面をジャックしたインパクトのある今回の展開は、東京駅利用者の関心を集めた。

展開期間は「東京ブライトピラー」「東京駅集中貼り」とともに8月22日(月)から8月28日(日)まで。



東京ブライトピラー



東京駅集中貼り

車両メディア「中ぶりワイド」「ドア横新B」を活用した展開を実施

車両メディア「中ぶりワイド」と「ドア横新B」を活用した広告展開が実施された。

広告主はミューゼプラチナムである。京浜東北線群・山手線群・中央線群の「3線群」と「湘南新宿ライン・上野東京ライン」の各路線に掲出できる「首都圏全線中ぶりワイド7days」の掲出にあわせて、首都圏のJR路線において乗客の目線の位置にB3サイズポスターを連続掲出

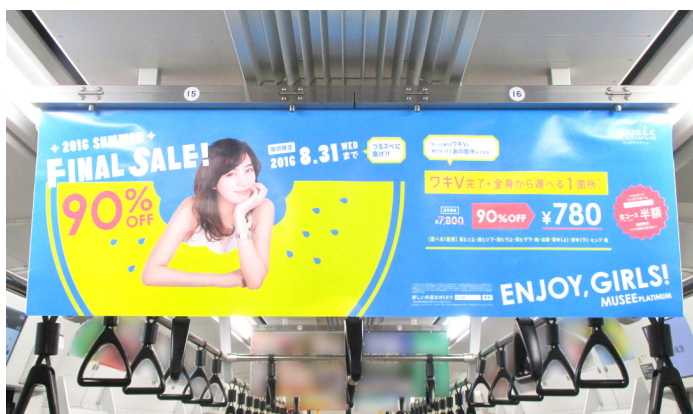


ドア横新B

できる「ドア横新B」の広告展開が同一クライアントで行われた。

複数の車両メディアを使用して集中的に広告展開することにより、各路線の電車内で非常にインパクトの強い広告訴求が可能となり、首都圏JR利用者の注目を浴びた。

展開期間は「首都圏全線中ぶりワイド7days」が8月22日(月)から8月28日(日)まで、「ドア横新B」が8月22日(月)から9月4日(日)まで。



首都圏全線中ぶりワイド 7days

山手線2編成で「車体広告」の展開を実施

山手線2編成において「車体広告」の展開が実施された。

広告主は春日井製菓で「つぶグミ」「つぶグミソーダ」のPRが行われた。山手線1編成全ての電車の車体を、同一クライアントでジャックしたインパクトのある広告展開は、山手線利用者の注目を浴びた。

展開期間は8月11日(木)から9月8日(木)まで。



山手線車体広告

「自動改札ステッカー」の展開を実施

山手線16駅において「自動改札ステッカー（山手ハーフ）」が展開された。

広告主はライオンで「ストップパ下痢止めEX」のPRが行われた。

「自動改札ステッカー」は、駅利用者的大半が通過する自動改札機を1クライアントの広告でジャックできるメディアであり、今回の展開は駅利用者の関心を集めた。

展開期間は7月30日(土)から8月12日(金)まで。



自動改札ステッカー



川崎駅フラッグ

川崎駅で「フラッグ」の展開を実施

川崎駅において「フラッグ」の展開が実施された。

広告主は東急ハンズ川崎店で、「ハンズメッセ」のPRが行われた。

川崎駅改札内コンコースにおいてB0サイズの「フラッグ」が5枚連続展開されたインパクトのある今回の展開は、川崎駅利用者の関心を集めた。

展開期間は8月25日(木)から8月31日(水)まで。



さいたま新都心改札外ビッグシート

「さいたま新都心改札外ビッグシート」の展開を実施

さいたま新都心駅において「さいたま新都心改札外ビッグシート」の展開が実施された。

広告主は日本コロムビア(株)と「THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS 3rdLIVE シンデレラの舞踏会 -Power of Smile- Blu-ray BOX」のPRが行われた。

「さいたま新都心改札外ビッグシート」は駅改札外の券売機横の壁面に大型サイズのシート広告を掲出できるインパクトのあるメディアであり、さいたま新都心駅利用者の関心を集めた。

展開期間は8月22日(月)から8月28日(日)まで。

「首都圏11社局中づりドリームネットワークセット」の販売開始

関東地区における鉄道事業者ならびにハウスエージェンシーの11社局では「11社局共同商品設定プロジェクト」を立ち上げ、交通広告の価値向上を目指し11社局共同でのネットワーク商品の開発を検討し、「首都圏11社局中づりドリームネットワークセット」の販売を開始した。

この商品は11社局の各路線に中づりワイドポスターを1週間連続掲出できるものとなっている。

※商品概要の詳細は交通媒体管理システムのメディアガイダンスをご覧ください。

○商品名	『首都圏11社局中づりドリームネットワークセット』	
○掲出エリア	① JR 東日本：首都圏全線 ② 東京メトロ：全線 ③ 東急電鉄：全線 ④ 東武鉄道：全線 ⑤ 小田急電鉄：全線 ⑥ 京王電鉄：全線 ⑦ 西武鉄道：全線 ⑧ 東京都交通局：全線 ⑨ 京急電鉄：全線 ⑩ 京成電鉄：全線 ⑪ 相模鉄道：全線 ※一部路線除く	
○販売単位	中づり ワイド 1週間(月曜掲出開始)	
○販売対象期間	2016年10月3日(月)～2017年2月26日(日) ※販売開始記念期間：2016年10月3日(月)～2016年11月6日(日) ※年末年始：12月26日(月)～1月8日(日)は販売対象外	
○販売設定枠	各週1枠	

商品概要

下期各種事故防止会議等の計画

広告関係の各種事故防止の取り組みとして、下期各種会議等が次のとおり計画されている。

◆会議

・意匠関係事故防止会議

10月6日(木)・1月24日(火)

・工事関係事故防止会議

10月13日(木)・2月2日(木)

・SP関係事故防止会議 10月25日(火)

◆講習会

・省令10条教育(JR本社主催)

11月29日(火)・12月5日(月)

・作業責任者安全講習会

2月21日(火)・24日(金)

◆訓練

・現車訓練

11月24日(木)〔総合訓練センター〕

◆年末年始作業規制期間

JR各支社共通

(東京、横浜、八王子、大宮、千葉)

12月27日(火)～1月5日(木)

※詳細は東京メディア・サービス

設備管理部安全指導課

電話 03・5391・1246

会員名簿変更

・代表者名欄変更(役職)

(株)ニューアド社 (9月1日付)

代表取締役会長 田草川 滋氏